「小樽市過疎地域自立促進市町村計画」の概要

■基本的な事項

1 小樽市の概況

- □自然的条件の概要
 - · 地勢 · 地理的状況、気候
- □歴史的条件の概要
 - ・明治~昭和初期に発展、戦後に斜陽化、観光都市へ
- □社会的、経済的条件の概要
 - ・アクセス、高等教育、経済、産業
- □過疎の状況
 - 人口の動向等、今後の見通し等

□社会経済発展の方向の概要

「小樽ならではの価値 =地域特性・強み」を

市民と共有していく中で、地域振興方策を展開

- 札幌市と隣接する地理的環境
- ・恵まれた自然環境
- ・産業・文化遺産などの歴史的資源
- ・大学などを有する学術的環境
- ・多機能の港湾施設 ・全国の知名度 など

2 人口及び産業の推移と動向

□昭和35年~平成17年までの国勢調査(年齢別人口の推移) □産業別人口の推移、比率

3 行財政の状況

□小樽市の財政状況(H12~20年度決算額の状況) □行政組織の状況(市組織の定員数の推移 :過去 10年間)

4 地域の自立促進の基本方針

【 市の将来都市像)】

|『歴史と文化が息づく 健康、にぎわい、協働のまち』|

○まちづくりのテーマ

- I 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち(産業振興)
- Ⅱ 安全で快適な住みよいまち(生活基盤)
- 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち(環境保全)
- IV ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち(市民福祉)
- V 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち(生涯学習)
- 5 計画期間 ; 平成22年度 ~ 平成27年度(6か年)

【特別事業(ソフト事業)の展開】

- ◆住民福祉の向上と雇用の増大
 - 少子高齢化対策
 - ・地域コミュニティの充実
 - ・ 地場産業の振興
- ◆定住自立圏構想の推進
 - ・移住の促進 ・医療の確保
 - · 地域福祉対策 · 販路拡大
 - 広域観光の形成

■自立促進計画の推進

1 産業の振興

- ◆農林業 ◆水産業 ◆工業·企業立地
- ◆商業 ◆観光 ◆雇用・労働 ◆港湾

2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流

- ◆道路·河川等 ◆交通 ◆情報·通信
- ◆地域交流(広域連携の推進、国内・国際交流)

3 生活環境の整備

- ◆上下水道 ◆廃棄物処理 ◆消防防災
- ◆住宅 ◆公園·緑地 ◆環境 ◆景観

4 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

- ◆高齢者福祉 ◆児童福祉 ◆障害者福祉
- ◆地域福祉 ◆保健福祉

5 医療の確保

◆地域医療・救急医療体制 ◆市立病院の整備

6 教育の振興

- ◆学校教育 ◆社会教育
- ◆スポーツ・レクリエーション
- ◆青少年・男女平等参画社会

7 地域文化の振興等

8 集落整備(コミュニティの維持・形成)

9 その他地域の自立促進に関し必要な事項

- ◆市街地整備
- ◆新幹線を活用したまちづくり